

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 10 日 (2007.5.10)

【公開番号】特開 2001-270952 (P2001-270952A)

【公開日】平成 13 年 10 月 2 日 (2001.10.2)

【出願番号】特願 2000-84579 (P2000-84579)

【国際特許分類】

C 0 8 J 7/04 (2006.01)

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

B 4 1 J 2/16 (2006.01)

C 0 8 L 27/18 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 7/04 C E W Z

B 3 2 B 27/30 D

B 4 1 J 3/04 1 0 3 H

C 0 8 L 27:18

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 19 日 (2007.3.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】改質テトラフルオロエチレンポリマからなる薄板と、
前記薄板を貫通する微細孔と、
前記薄板に形成された位置決め用の孔と、
前記位置決め用の孔に嵌合する突起が形成され、該突起を前記位置決め用の孔にはめ込む
ことによって前記薄板に固定された基体と
を有する複合材料部品。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

図 1 (A) に示す基体 5 0 は、例えばセラミックスやポリマ等で形成される。基体 5 0 に
は、位置決め穴 5 1 及びインク吐出孔 6 2 と同数のインク収容空洞 5 2 が形成されている。
位置決め穴 5 1 と突起 6 5 とが嵌合することにより、ノズル部 6 0 が基体 5 0 に固定さ
れる。位置決め穴 5 1 と突起 6 5 とが嵌合した状態で、各インク収容空洞 5 2 が、それ
に対応するインク吐出孔 6 2 を経由して薄板 6 1 の反対側の空間に繋がる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 9】

図 6 (A) に示すように、基体 9 5 に 2 つの突起 9 6 が形成されている。突起 9 6 は、ノ
ズル部の位置決め穴 9 1 に嵌合する。さらに、基体 9 5 には、インク収容空洞 9 7 が形成

されている。インク収容空洞 9 7 とインク吐出孔 9 2 との位置関係は、図 1 に示す第 1 の実施例の場合と同様である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 4】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によると、改質テトラフルオロエチレンポリマからなる薄板に突起が形成されている。この突起を他の部品の凹部に嵌合させることにより、薄板を他の部品に取り付けることができる。